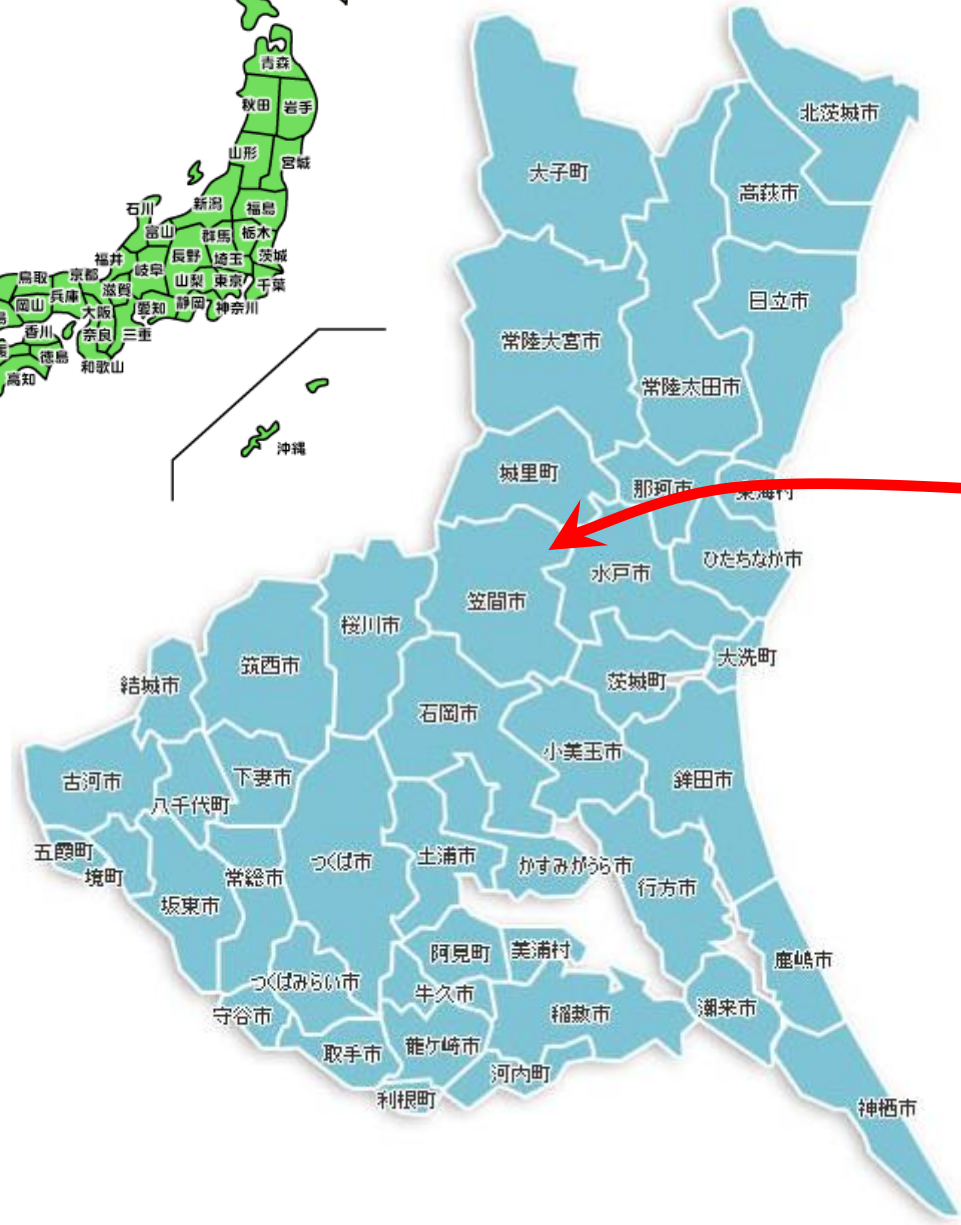
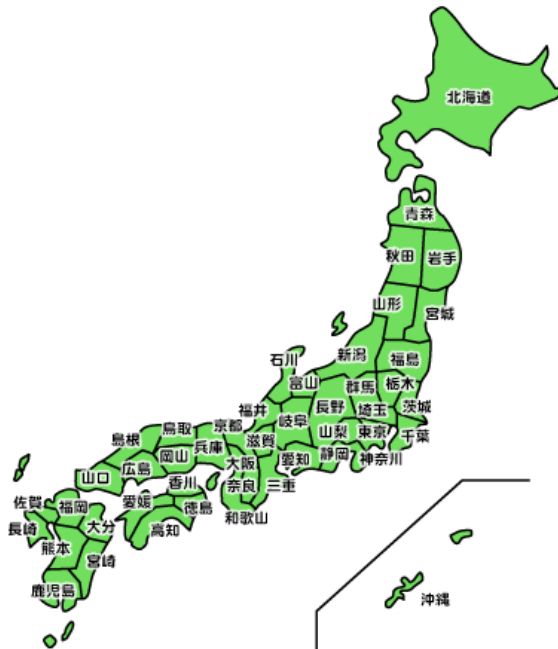


休耕田を活用したビオトープ整備による 生態系保全活動事例



原宿の環境をよくする会（茨城県笠間市）

茨城県



原宿の環境をよくする会

概 要

- 対象農用地面積 田 10 ha
- 開水路 2. 1km
- パイプライン 2. 7km
- ため池 2 箇所
- 農道 1. 4km
- 農業者 農業者 39名、農事組合法人1法人
- 農業者以外 8団体
NPO法人ビオトープ天神の里を作る会、
原店1・2区、宿1・2区、
原店・つくば子ども会、原宿会

地域の様子と取り組みへのきっかけ

- 谷津田地域
- 農道や水路の草刈りといった維持管理は農業者が中心となっていたが、高齢化により保全管理が困難であった
- 平成16年度～
「NPO法人ビオトープ天神の里を作る会」が休耕地を活用し、環境保全活動を実施
- 平成20年度～
多面的機能支払の取り組みを開始

NPO法人及び地域内7団体の参画により、ビオトープ作りなどの生態系保全活動や地域の環境保全に取り組み、地域間の交流を促進させ、雑草対策など農地のきめ細やかな維持管理を一体的に実施

今までの主な活動内容 ①

□ 農地維持活動

- 農地・調整池・水路・農道の点検、草刈等の管理
- 畦畔・農用地の法面等の草刈
- 農地周辺の立木・篠などの伐採
- 推進活動として、高齢化により困難となっている活動に今後どう対応していくか、非農業者と共に検討

今までの主な活動内容 ②

□ 資源向上（共同活動）

- 遊休農地等の有効活用として、ビオトープ整備
- ビオトープ天神の里において、ゲンジボタル観察会などの開催
- 地域住民との交流活動として八重桜鑑賞会
- 老人会と子供会協働による花壇の整備
- 全員参加によるふれあい菜の花畑
(H20年度からH24年度まで)

農業者の現状

- 昭和60年に、南友部土地改良共同施行として、約10haを圃場整備
- 整備とともに、南友部第1生産組合を設立
- 平成18年に営農生産組合に変更
- 平成28年に現在の南友部農事組合法人として、法人化
- 米の生産調整を進め、転作を推進
 - ・飼料稲、わら、麦、大豆を作付け
 - ・1年ごとに、1/2のブロックローテーション
- ※ 現在では、90%以上が貸主 専業農家は、2名のみ
自己所有の農地等の管理が困難になってきている

農地維持活動 計画策定(総会)



農地維持活動 施設の点検作業



農地維持活動 各施設の草刈り作業



農地維持活動《農用地・ため池》



農地維持活動《開水路》



農地維持活動《パイプライン》



農地維持活動《農道》



資源向上活動 清掃活動



資源向上活動 花壇の整備(原宿会・子供会)



資源向上活動 農地を活用した景観に配慮した作付け



資源向上活動 八重桜鑑賞会(地域間交流)



資源向上活動 休耕田等を活用したビオトープ整備 名称 「ビオトープ天神の里」



「ビオトープ天神の里」では、 様々なビオトープ整備を実施

()内は整備前の状況

- メダカンボの里(ハンノキ)
- トンボの里(シノ藪だった休耕田)
- カタクリの里(ヒノキと落葉樹)
- ハナハスの里(シノ藪だった休耕田)
- オオムラサキの里(シノ藪)
- モウセンゴケの里(田那场池上流部)
- 天神池の里《天神池》(ブルーギル)
- ヘイケボタルの里(セイタカアワダチソウ)

休耕田等を活用したビオトープ整備 メダカンボの里整備前の状況



休耕田等を活用したビオトープ整備 メダカンボの里



休耕田等を活用したビオトープ整備 現在のメダカンボの里

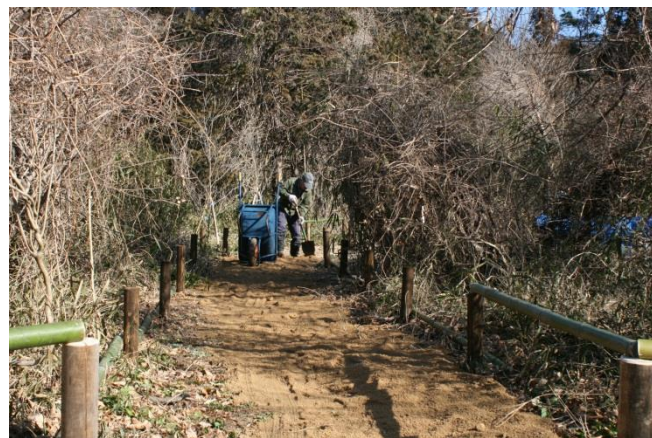


サワギキョウ

休耕田等を活用したビオトープ整備 オオムラサキの里整備風景



休耕田等を活用したビオトープ整備 オオムラサキの里



休耕田等を活用したビオトープ整備 現在のオオムラサキの里

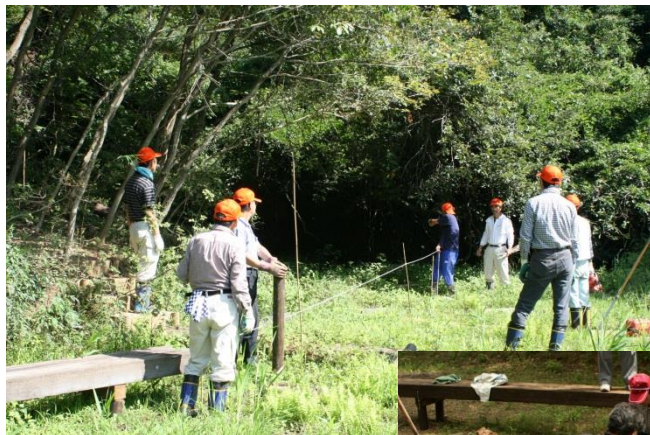


ノイバラ

休耕田等を活用したビオトープ整備 トンボの里整備前の状況



休耕田等を活用したビオトープ整備 トンボの里



休耕田等を活用したビオトープ整備 現在のトンボの里



休耕田等を活用したビオトープ整備 天神池整備前の状況



休耕田等を活用したビオトープ整備 天神池のビオトープ作り



休耕田等を活用したビオトープ整備 現在の天神池



休耕田等を活用したビオトープ整備 現在整備中のヘイケボタルの里



ビオトープ天神の里には いろいろな生き物が訪れます

- トンボ 32種類
 - チョウ 64種類
 - ホタル 3種類
 - 植物 332種類
 - 鳥 29種類
 - その他 79種類
- トウキョウサンショウウオ、
カエルなど

H18年度からH30年4月まで
確認された生き物 536種類



トンボ(32種類)



チョウ(64種類)



植物(332種類)



その他の生物(79種類)



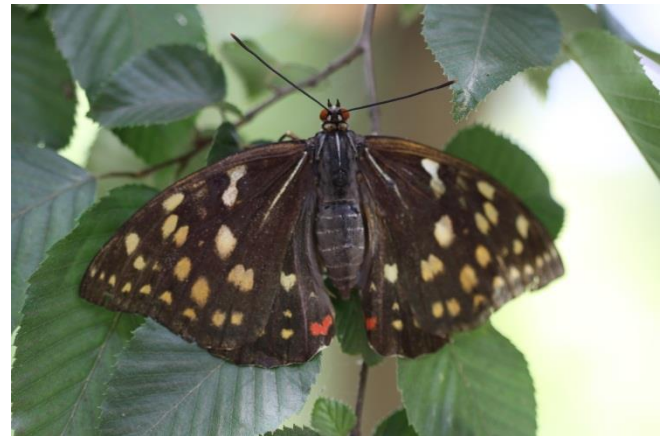
クロマドボタルを発見

- 秋蛍とも言われている
- 陸で生活する
- ウスカワマイマイ(巻貝)を食べて生活している



クロマドボタル

オオムラサキの卵を確認



オオムラサキの家



視察研修、体験学習などによる 都市農村交流

- 観察会等のイベント開催
(市の広報紙により一般募集)
- 中学生の体験学習の受け入れ(千葉県浦安市)
- 企業との連携
イベント開催
- 他市町村からの視察研修
(福島県、さいたま市西区、
日立市など)



「ビオトープ天神の里」イベント ゲンジボタル観察会・昆虫観察会



「ビオトープ天神の里」イベント 夜の昆虫観察会



「ビオトープ天神の里」イベント 一般参加による釣り大会



「ビオトープ天神の里」イベント 天神の里周辺自然観察会



「ビオトープ天神の里」イベント キャノングループとの連携(レンズ工作)



「ビオトープ天神の里」イベント 浦安中学校体験学習



視察研修の受け入れ(H29. 10)



資源向上活動の取り組みの効果

- 草刈りなどの共同活動や、生態系保全などの農村環境向上活動を、地域が一体となって行うことにより、**非農業者と農業者が身近に接する機会が増えた**
- 農用地保全の大切さについて、子供たちを含めた**市民が一緒に考えるようになった**
- 農地周辺が**きれいになった**
- ハイキングコースとして、歩く方が多くなった**
- 環境への関心が高まってきた**
- ビオトープ整備により、**ボランティア活動が地域の方々に浸透して来た**
- 遊休農地を所有する方がビオトープ整備に協力するようになった **(農地等の無償借地 約3ha)**

今後の展望

今後も、地域住民が一体となったきめ細やかな雑草対策による農地の保全や遊休農地を活用したビオトープ作りに取り組むことにより、地区内だけではなく、市民をはじめ、県内外の都市農村との交流を進めていくことにより、地域の活性化を向上させていきたい

ビオトープ天神の里

